

ライフサイエンス支援センター

1. 領域構成教職員・在職期間

准教授	徳永 暁憲	2018/5/1～現職（生物資源部門）
助教	柄谷 和宏	現職（バイオ実験機器部門）
助手	岸本 由香	現職（バイオ実験機器部門）
助手	吉村 龍明	現職（バイオ実験機器部門）

2. 研究概要

研究概要

生物資源部門は、第1期施設（4階建て903㎡）、第2期施設（5階建て901㎡）及び第3期施設（5階建て1209㎡）からなり、厳密に管理された空調制御機構を持つ実験動物施設である。本部門では、動物実験が適正に行われるよう実験施設の飼養環境の維持と利用に関する教育を主業務としている。現在マウス、ラット、ウサギ、モルモット、イス、マーモセット等が収容可能であり、小動物実験室、中大動物手術室、行動観察室、隔離感染実験室、X線照射室、検疫室などを完備している。また部門研究として、遺伝子改変動物の作出に関わる発生工学手法の技術開発、並びに神経疾患モデルを用いた基礎研究などを行なっている。

バイオ実験機器部門は、共通機器の管理、運用、およびそれらを利用する研究者への支援を主業務としている。業務内容を前提にして実験支援や実験に関する教育支援を行う手法についての研究を主に行っている。

キーワード

発生工学、CRISPR、幹細胞研究、中枢神経系疾患
研究支援

業績年の進捗状況

特色等

生物資源部門では適切な動物実験の実施に求められる環境維持のため、微生物モニタリング、体外受精による感染体の除去などバリア環境の保全に努めている。また本部門の利用者に対して動物実験講習会や実習・講義を定期的に開催し、動物実験に求められる原則「動物実験の3R（Replacement、Reduction、Refinement）」への理解を深めると共に、ゲノム編集動物の作出などの研究支援を行っている。

<主な部門業務>

- 1) クリーンかつ安全な施設環境維持
- 2) 動物実験講習会の開催
- 3) 実験動物の飼育方法・実験手法に関する技術指導
- 4) 学生および大学院生に対する実習・講義
- 5) 検疫・微生物モニタリング
- 6) 胚保管・ゲノム編集動物の作出などの研究支援

バイオ実験機器部門は、医学・生命科学分野の基礎から応用に至る各種の大型・高度・精密分析機器・システム類の保守管理を行っている。また本設備を利用する学内の学生・大学院生・研究者に機器利用講習会や大学院生の実習講義などを実施して技術指導を行い、教育及び研究分野の一層の推進・発展を支援することを目的としている。

<部門の業務>

- 1) 各種実験装置の維持管理及び使用方法の説明、指導を行う。
- 2) 実験方法等のアドバイス及び技術指導
- 3) 実験方法等のワークショップ開催
- 4) 最新の機器や実験方法についての各種セミナーの開催
- 5) 実験依頼サンプルの受付
- 6) 学生および大学院生の実習・講義

本学の理念との関係

生物資源部門では、本学の理念に則り科学的かつ適正な動物実験を推進するべく、実験動物の飼養保管、施設の環境整備を行なっている。今日、動物実験は医学生物学研究には欠かすことのできない手段となっており、更なる研究支援体制の充実を目指し、発生工学に注力した基盤的研究支援を行っている。

バイオ実験機器部門では、新しい医学生物学研究を支援するための先端研究支援体制を作り上げる努力をしている。研究者にとって欠かせない形態学・培養・分子生物学・生物化学関連機器や設備の利用を目的とした基盤的研究支援を行っている。また、実験設備・機器の整備を図りながら他大学等との連携交流や地域社会における教育支援活動を行い、研究と人材の育成に貢献している。

3. 研究実績

区分		編数		インパクトファクター（うち原著のみ）	
		2014～2019年分	2020年分	2014～2019年分	2020年分
和文原著論文	ファーストオーサー	0	0	—	—
	コレスポンデンス・オーサー	0	0	0(0)	0(0)
	その他	0	0	0(0)	0(0)
	合計	0	0	0(0)	0(0)

(A) 著書・論文等

(1) 英文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編集・編集・監修

(2) 英文：論文等

a. 原著論文（審査有）

b. 原著論文（審査無）

c. 原著論文（総説）

d. その他研究等実績（報告書を含む）

e. 国際会議論文

(3) 和文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編集・編集・監修

業績一覧

- (4) 和文：論文等
- a. 原著論文（審査有）
 - b. 原著論文（審査無）
 - c. 総説
 - d. その他研究等実績（報告書を含む）
 - e. 国際会議論文

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

- a. 招待・特別講演等
- b. シンポジスト・パネリスト等
- c. 一般講演（口演）
- d. 一般講演（ポスター）
- e. 一般講演
- f. その他

(2) 国内学会（全国レベル）

- a. 招待・特別講演等
- b. シンポジスト・パネリスト等
- c. 一般講演（口演）
- d. 一般講演（ポスター）
- e. 一般講演
- f. その他

2059001

Tada H, Yasuda K, Nakashima A, Suzuki K, Tokunaga A, Akagi K.: Paramylon, a β -1,3-Glucan from *Euglena gracilis*, extends lifespan and diminishes age-related neuromuscular decline., 第43回日本基礎老化学会, 20200621

(3) 国内学会（地方レベル）

- a. 招待・特別講演等
- b. シンポジスト・パネリスト等
- c. 一般講演（口演）
- d. 一般講演（ポスター）
- e. 一般講演
- f. その他

(4) その他の研究会・集会

- a. 招待・特別講演等
- b. シンポジスト・パネリスト等
- c. 一般講演（口演）
- d. 一般講演（ポスター）
- e. 一般講演
- f. その他

(C) 特許等

区分	内容（発明の名称）	発明者又は考案者
----	-----------	----------

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額（配分額）
----	---------	-------	------	------	------	---------

区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額（配分額）
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	新規1型糖尿病モデルを用いたアルツハイマー病態誘導メカニズムの解明	徳永 暁憲	多田 敬典	20190401-20220331	¥1,560,000

区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額
----	-----	-----	------	------	------

区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額
受託研究	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター	腸内環境変化を介した認知症病態メカニズムの解明および治療戦略	徳永 暁憲	20200401-20210331	¥500,000

(B) 奨学寄附金

受入件数	0
受入金額	¥0

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
----	---------	-----	-----	-----

(B) 学会の実績

学会の名称	役職	氏名
日本分子生物学会	一般会員	徳永 暁憲
日本糖尿病・肥満動物学会	一般会員	徳永 暁憲
日本実験動物学会	一般会員	徳永 暁憲
日本再生医療学会	一般会員	徳永 暁憲
日本生理学会	一般会員	徳永 暁憲
国立大学法人生命科学研究機器施設協議会	一般会員	柄谷 和宏
日本分子生物学会	一般会員	柄谷 和宏
日本生化学会	一般会員	柄谷 和宏

(C) 座長

国内学会 (全国レベル)	学会名	氏名
-----------------	-----	----

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	査読・編集	委員長(主査)・委員 の別	氏名	査読編数
----------	-------	------------------	----	------

(E) その他